

水鏡

Mizu-Kagami

No.99

水道・下水道特集

陥没事故などを未然に防ぐ 下水道管を更新中

市内では、管が壊れやすくなる目安の40年を超える下水道管が全体の19%に上り、老朽化が進んでいます。

老朽化を放置すると、トイレの流れの悪化や下水道管の破損による道路陥没などの危険が増すため、調査と更新を進めています。

〔詳細〕下水道施設課建設係 ☎ 385-1218

下水道管の老朽化による道路陥没が発生

近年、下水道管が原因と考えられる道路陥没は全国で約4千件発生しています。

市内でも、10センチ程度の小さなものも含めると、昨年は、4件の陥没が発生してお

り、これらの原因の多くは老朽化によるものでした。老朽化を放置すれば、トイレの流れの悪化や未処理下水の流出、下水道管の破損による道路陥没など、重大な影響を及ぼす恐れがあります。

市内の下水道管の現状

市内の下水道管路およそ856キロメートル（平成27年度末時点）のうち、全体の19%程度

を占める約162キロメートルが、壊れやすくなる目安の40年を経過しています。また、今後10年間のうちに、40年を経過する割合は46%まで増えるため、管路の計画的な調査と更新が必要です。

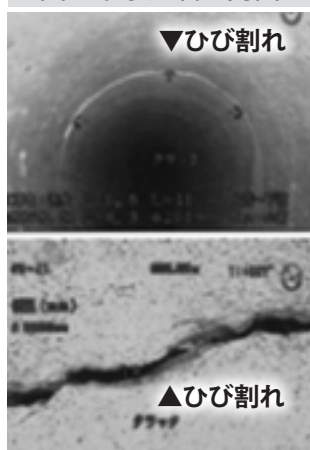
調査の結果 大半は継続して使用可

大麻地区は、管路の建設から52年が経過し、市内で最も古い管路がある地区です。

老朽度合いを調べるため、平成24年から平成26年にかけて、遠隔操作のテレビカメラ車で下水道管の内面を撮影し、調査を行いました（調査方法の詳細は、水道部ホームページに掲載）。

その結果、ひび割れや腐食

図1 下水道管の内面



その結果、ひび割れや腐食

その結果、ひび割れや腐食

野幌駅北側には、カラータイプの蓋が約10枚設置してあります



台風被災地で給水支援活動



8月下旬、北海道は台風により大きな被害を受けました。

水道部は8月25日～27日の3日間、大雨により断水した空

知地方の市へ、延べ20名の職員と給水車2台を派遣し、支援活動を行いました。

自然災害に伴う支援のため、要請から短時間で準備を行っての出発となりましたが、2年前の断水災害で得た教訓やその後の訓練の成果もあり、無事作業を終えました。

江別市は日本水道協会に加盟しており、協会では各種委員会や研修会により水道業務の質向上を図っているほか、有事の際の相互支援体制を確立しています。

今回の支援活動も協会から要請を受けた複数の市町村とともに行いました。

今後も日頃の訓練などを通じて災害対応能力の向上を図り、迅速な対応ができるよう備えていきます。**〔詳細〕**水道整備課給排水・維持管理担当 ☎ 383-2439

大麻地区（下水道管調査完了）



江別地区（下水道管調査中）



などを確認し（右図1）早急な対応が必要な部分は、すぐに補修を行いました。大半は、適切な処置を施せば今後でも使用可能であることが分かりました。

平成27年からは、市内で二番目に古い管路のある江別地区で同様の調査をしており、その他の地区についても、順次調査を進める予定です。

来年度から始まる 下水道管の更新

下水道管を将来にわたって健全な状態で維持するためには、補修だけでなく、計画的な更新が必要です。

大麻地区では、平成29年度から更新工事を実施します。

更新には、古い管の内側に新しい管を作る更生工法のうち、代表的な「形成工法」（右図2）を採用します。

この工法は、主に口径が40センチ以下の下水道管に適しており、市内の大半に適用することが出来ます。

また、マンホールの中から作業ができるため、道路を掘り起こす必要がなく、古い管を撤去して新しい管に交換する「布設替工法」に比べて費

図2 新しい下水道管ができるまで <形成工法>



1
下水道管内に折りたたんだ柔らかい樹脂製の管を入れます。

2
空気を送り風船のように膨らませた上で、熱を加え硬化させ、内側に新しい管を造ります。

用と時間を抑えられます。

それでも更新費用は、大麻地区で約10億円となる見通しです。

更新工事に ご協力をお願いします

工事の際には、周辺の皆さんに流し・トイレの使用を控えていただくことや車両の通行止めなどで不便をおかけします。

工事の日程など、詳細はチラシや工事看板などお知らせします。ご理解とご協力をお願いします。



水道水の水質検査結果は、水道部ホームページまたは水道部営業センターで見ることができます。

平成27年度の会計決算 水道事業・下水道事業

水道部は、経営の指針として「江別市水道事業中期経営計画」と「江別市下水道事業中期経営計画」を策定しています。平成26年度から平成30年度までの5年間、同計画に基づき事業を進めています。

計画の2年目となる平成27年度決算の概要を中期経営計画との比較を交えてお知らせします。

【詳細】水道部総務課財務係 ☎ 385-1214

決算の概要

引き続き健全経営を維持
水需要は人口減少や節水型機器の普及などにより減少傾向にあります。

【損益の状況】

項目	水道事業	下水道事業
営業収益	22億 7,919万円	22億 5,229万円
営業費用	20億 7,151万円	28億 8,968万円
営業外収益	1億 2,437万円	12億 4,372万円
営業外費用	8,307万円	3億 6,133万円
特別損失	106万円	51万円
純利益	2億 4,792万円	2億 4,448万円

【水量】 (単位：千立方メートル)

年間総給水量	10,911 (11,144)
年間総処理水量	17,253 (18,117)

※ () 内は27年度経営計画の需要予測値

【企業債残高の推移】

年度	水道事業	下水道事業
H25	34億 9,846万円	145億 1,969万円
H26	32億 534万円	137億 6,296万円
H27	29億 958万円	131億 3,617万円

しかし、管理運営費などの節減に努めた結果、上下水道事業とも2億4千万円程の純利益を上げることができました。安定した経営を続けるため、引き続き企業債残高の縮減に努めます。

【経営指標】 (単位：%)

項目	水道事業	下水道事業
総収支比率	111.5% (109.0)	107.5% (108.6)
累積欠損金比率	0 (-)	0 (-)

※ () 内は27年度経営計画の目標値

電子式メータ設置率	35.6% (32.4%)
-----------	---------------

基幹管路耐震化率	11.5% (12.0%)
----------	---------------

※ () 内は27年度経営計画の目標値

主要事業
①基幹管路耐震化事業 (水道事業)
災害に強く安定したライフラインの構築を図るため、基幹管路(口径の大きい主要な水道管)の耐震化を進めました。

②処理場・ポンプ場施設耐震化事業 (下水道事業)
災害時でも一定の機能を確保できるように、浄化セン



今後の取り組み

今後の給水量、処理水量は当初の予測を上回るペースで減少する状況が続くと見込まれます。経営基盤強化に努め、皆さんが安心して生活できるよう、良質な上下水道サービスの提供と安定的で効率的な事業運営を進めます。

※詳しい決算の状況(決算書)と「中期経営計画」は、水道部ホームページ(<http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/site/suidou/list-152-222.html>)。

口座振替のご利用を

水道料金・下水道使用料のお支払いは口座振替をおすすめしています。

手続きをすると、指定した市内の金融機関の口座から水道料金・下水道使用料が自動的に支払われるため、支払いに向く必要がなくなり、払い忘れもなくなります。

※口座振替の手続きは金融機関の窓口でも可能です。通帳、印鑑、水道のお客様番号を確認できる物をご持参ください。

領収のお知らせの省略

口座振替をご利用の方には領収のお知らせを発行していませんが、不要の申し出がなかった方には、環境への配慮から発行を省略しています。現在8千件を超えるご協力があり、引き続き、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

【詳細】営業センター ☎ 385-1215



市職員の給与と人数

市は、行政への要望に柔軟に対応できるよう定員管理と人件費の適正化に努めています。給与・人事・研修などの詳細は、年内に市ホームページと市役所本庁舎1階情報公開コーナーで公開する予定です。[\[詳細\]](#) 職員課 ☎ 381-1007

職員などの給与

職員の給与は、職務の内容と責任の度合いに応じて支給される給料と、扶養手当や通勤手当など一定の条件にあてはまる場合に支給される諸手当で構成されています。

支給額は、国家公務員や民間企業の給与などを考慮し、市議会の議決を経て、条例で定められています(表①～③)。

①学歴別初任給

(平成28年4月1日現在)

職種学歴区分	江別市職員		国家公務員	
	初任給	2年経過	初任給	2年経過
一般行政職	大卒	17万6,700円	(総合職大卒) 18万1,200円	20万2,600円
	高卒	14万4,600円	(一般職大卒) 17万6,700円	18万8,600円
			(一般職高卒) 14万4,600円	15万3,000円

②経験年数別・学歴別平均給料月額

(平成28年4月1日現在)

職種学歴区分	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満
	一般行政職	大卒 28万6,207円	33万8,728円
	高卒 —	—	32万8,512円

特別職の給料・月額報酬

(平成28年4月1日現在)

	給料・報酬	期末手当	寒冷地手当
市長	89.3万円	4.2月分	一般職と同じ
副市長	72.2万円	4.2月分	一般職と同じ
議長	45.6万円	4.2月分	—
副議長	40.7万円	4.2月分	—
議員	37.8万円	4.2月分	—

また、市長や市議会議員などの特別職は、特別職報酬等審議会の答申を受け、市議会の議決を経て、条例で定められています。

③諸手当の状況

(平成27年度決算)

区分	内容	平均支給月額
扶養手当	扶養親族のある職員に支給	1万9,537円
通勤手当	●交通機関を利用：運賃などに応じて支給 ●自動車などを使用：通勤距離に応じて支給	5,427円
住居手当	自ら居住する住宅を借り受け、家賃を払っている職員に家賃に応じて支給	2万4,927円
時間外手当	勤務時間を超過して勤務した職員に支給	3万5,083円
寒冷地手当	11月から翌年3月まで支給	1万7,656円
期末勤労手当	支給月	期末手当
	6月	1.225月分
	12月	1.375月分
	計	2.6月分
加算措置	職制上の段階、職務級などによる加算措置あり	勤勉手当
		0.75月分
		0.85月分
		1.6月分

退職手当

江別市が加入する北海道市町村職員退職手当組合から、退職時の給料月額、勤続年数、退職事由に応じて計算された金額が支給されます。



退職手当の支給割合

(平成28年4月1日現在)

勤続年数	江別市職員・国家公務員	
	自己都合	早期・定年
20年	20.445月分	25.55625月分
25年	29.145月分	34.5825月分
35年	41.325月分	49.59月分
最高限度額	49.59月分	49.59月分
その他の加算措置	なし	定年前早期退職特例(2～45%の加算)

職員数の状況

平成28年4月1日現在の職員数は1,158人。平成27年4月1日と比較すると2名増です。



職員数の推移

(各年度4月1日現在)

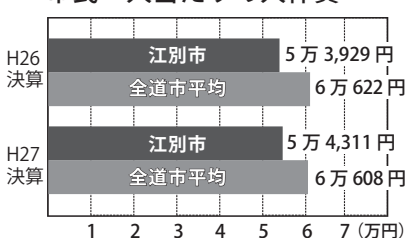


人件費の状況

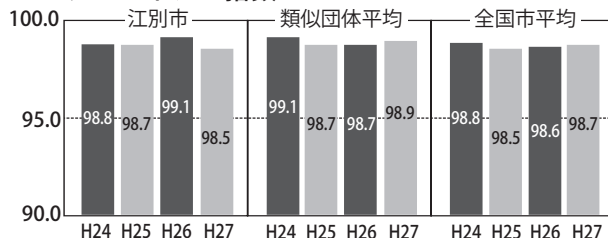
人件費は、給料や手当と共済費(民間企業での社会保険料のうち事業主が負担する部分)の合計額で、江別市の市民一人当たりの人件費は、道内平均を下回ります(左下図)。

また、国家公務員の給与水準を100とした場合の江別市の給与水準「ラスパイレス指数」は平成27年4月1日現在、98.5でした(右下図)。

市民一人当たりの人件費



ラスパイレス指数



○ラスパイレス指数とは…全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数(構成)を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表(一)適用職員の俸給月額を100として計算した指数。グラフ中の平成24年から25年の値は国家公務員の時限的な(2年間)給与改定・臨時特例法による給与減額措置が無いとした場合の値。
○類似団体とは…人口規模・産業構造で同程度の自治体など。